

《クラフトテープで作る》

6m

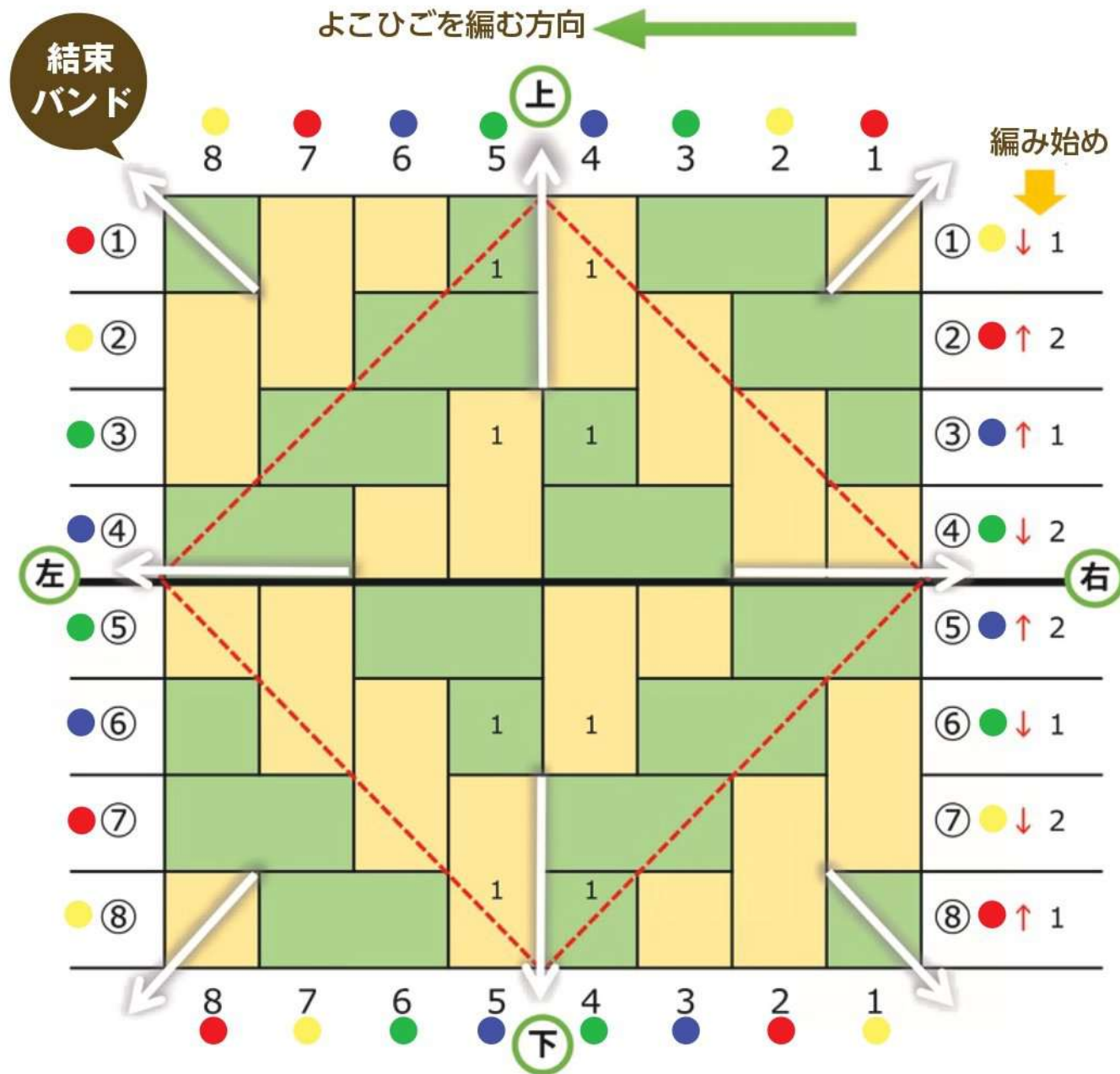
斜め網代編み 8 x 8 正方形かご



五箇山のかごとは？

ハナノキ（モミジ類）を縦半分だけ
採取し、年輪に沿って割いていき
約1cm幅のテープ状のひごを作り
斜め網代編みで編んでいきます。

斜め網代編み 編み図



《作り方》

1 ひごを準備する

2 ひごをならべる

3 上12345678のひごを手前に折り 上5678を垂直に固定する。

4 右手で上4を上5678に2目ずつに つながるように編んでいく。

5 上3～1も上5678に1本ずつ編んで 積み上げ、洗濯ばさみで固定する。

6 下、右、左も同じように右4本を 左4本へ1本ずつ編んでいく（逆も可）

7 立体になってくるので外側から残っ ているところを2目ずつ編んでいく。

8 ひもやゴムでしばってつぶし、 形を整え、ひごの長さをそろえる。

9 最後に仕上げる

ひごを準備する

6mのクラフトテープで8×8のかごを
編む場合のひごの長さは

【42cm…たて・よこ2本ずつ 計4本】
【39cm…たて・よこ2本ずつ 計4本】
【36cm…たて・よこ2本ずつ 計4本】
【33cm…たて・よこ2本ずつ 計4本】

合計16本に分けて切る。

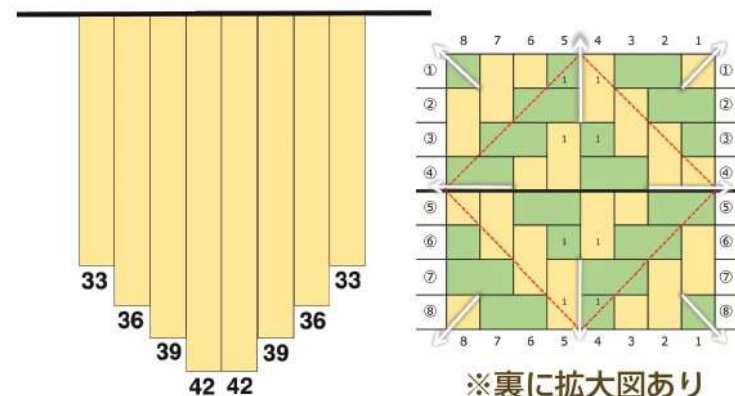
42cm	よこ	2本
42cm	たて	2本
39cm	よこ	2本
39cm	たて	2本
36cm	よこ	2本
36cm	たて	2本
33cm	よこ	2本
33cm	たて	2本

ひごをならべる

1. たてひごを上をそろえて中央が長く
両端が短くなるように左右対象に並べ
て固定する。

2. よこひごは図を見ながら「編み始め」
より右から左へ編んで、最後に結束
バンドなどで固定する。

※よこひごも中央を長くする。



最後に仕上げる

1. 右図の●を後ろから前に●の裏に
入れ、次に中側にして、今入れた●の
出ているところへ●を入れる。

2. ●以降も同じように右に進みながら
すべて入れて、形を整えてできあがり。

※ひごの長さによって【／右上がり】ではなく
【＼左上がり】の向きにすることもできます。
五箇山地方は【／右上がり】が多いです。

※右上がりで完成の場合



実際の作り方



山からハナノキ（モミジ類）を縦半分だけ採取し、年輪にそって割いていき、約1.5cm幅で厚さが1mm以下のテープ状のひごを作ります。それを二目とばしの斜め網代編みで編んでいきます。底は四角形で、上部は丸い形になります。豪雪地帯は竹が育たず、ハナノキの雪に埋もれても折れずにしなる特性を活かして、強く丈夫なかごが編まれるようになりました。

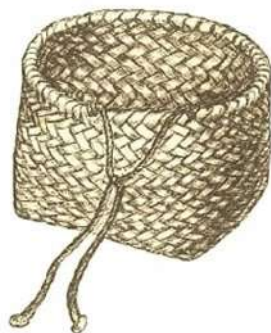
五箇山かごの特徴は？



唯一
ここだけ

- ①五箇山のハナノキで作られている
- ②斜め網代編みで編まれている
- ③最後の仕上げは右上がり一目

五箇山かごの歴史



かつては養蚕がさかんで、桑の葉を入れるために「フゴ」と呼ばれるかごが作られていました。

《五箇山地方の伝統民芸品》

紙テープ
でつくる

なな あじろ

斜め網代編み 6×6本 正方形 ミニかご



手づくり体験用

簡単

五箇山かごの作り方

《ひごの準備》

たてひご	2本	37cm	L
よこひご	2本	37cm	
たてひご	2本	33.5cm	M
よこひご	2本	33.5cm	
たてひご	2本	30cm	S
よこひご	2本	30cm	

3種類を4本ずつ合計12本を用意する

《最後の仕上げ》

同じ色のシールをひとつの組として

①後ろのひご→山折りして前に入れる

②前のひご→ひっぱりだして谷折りして後ろに入れる

《ひごの並べ方》

